



## 孤立した地区へ救援物資を搬送

### 8月18日から義援金の受付を開始

台風9号から変わった温帯低気圧に伴う大雨により、青森県内の下北・上北地方を中心に河川の氾濫や土砂崩れ、床上浸水などの被害が発生しました。

8月10日、青森県支部では第1次救護体制を発令し、同日より被災された市や村からの要請を受け、救援物資(毛布、タオルケット、緊急セット\*1、安眠セット\*2)の搬送を行うなど、被災者支援のための救護活動を行いました。

8月12日には、土砂崩れや橋の崩落によって孤立した下北郡風間浦村の下風呂地区へ救援物資を届けるため、むつ市大畑漁港から作業船による海上輸送の手段が取られ、陸上自衛隊の協力のもと、救援物資の積み込み作業が行われました。

また、日本赤十字社では、この災害で被災された方々を支援するため、8月18日から12月28日までの期間、義援金(義援金名称「令和3年台風第9号等大雨災害義援金」)の受付を行っています。皆様からの温かいご支援をよろしく申し上げます。

救護活動や義援金に関するお問い合わせは、事業推進課まで。

救援物資の搬送状況は、以下のとおりです。

搬送日	要請先	救援物資内容
8月10日(火)	むつ市	毛布 100枚、緊急セット 18セット
8月12日(木)	風間浦村	毛布 200枚、緊急セット 150セット、安眠セット 200セット
	むつ市	緊急セット 18セット
8月13日(金)	むつ市	緊急セット 36セット、安眠セット 50セット、タオルケット 50枚



8月12日、海上輸送のため作業船へと積み込まれる救援物資(協力:陸上自衛隊)



#### 「緊急セット」\*1

避難先での生活にあると便利なマスク、ウエットティッシュ、ラジオ、懐中電灯、歯ブラシなどが一式収納されたもの。1セットに4人分が備えられています。



#### 「安眠セット」\*2

避難先での生活を少しでも快適に過ごしていただけるよう、キャンピングマット、枕、アイマスクなどが一式収納されたもの。1セットに1人分が備えられています。

## 献血への感謝の思いを“カタチ”に

### タムラファーム(株)がアップルパイを寄贈

青森県弘前市にあるタムラファーム株式会社(田村昌司代表取締役)は、献血者への感謝の気持ちを伝えようと、自社の看板商品である「アップルパイ」を青森県赤十字血液センターに寄贈しました。

今年に入り、代表取締役の奥様が病気になられ、治療の一環として大量の輸血を受けられました。「献血者の皆様へ感謝の気持ちを伝えたい」という田村氏からの申し出をいただき、この度の寄贈に至りました。奥様は現在、治療の甲斐もあり、快方に向かわれています。



プレゼントされたメッセージカード付きのアップルパイ

青森県赤十字血液センターは、心温まる申し出を受け、10月16日から10月31日の間、県内2カ所の献血ルーム(青森、弘前)において、献血いただいた方々への記念品として、寄贈されたアップルパイを献血者へプレゼントし、田村氏からの感謝の思いを届けました。

タムラファーム株式会社  
住所: 弘前市青樹町18-28  
電話: 0172-88-3836  
営業時間: 平日 8:30 ~ 17:00  
定休日: 日曜・祭日、お盆、年末年始  
HP: <http://tamurafarm.jp/>

### 日本赤十字社青森県支部からのお知らせ

#### 評議員一斉改選

赤十字会員の代表として選出されている評議員(任期3年)は、令和4年2月13日をもって任期満了となります。評議員改選に関するお問い合わせは、支部または各市役所・町村役場(弘前市・板柳町・西目屋村は社会福祉協議会)の赤十字係まで

#### 「NHK海外たすけあい」キャンペーン

12月1日~12月25日

皆さまからの温かいご協力をよろしくお願いいたします!

### 青森県支部公式ソーシャルメディアを開設しました!

青森県内の赤十字関連の情報を中心に発信していきます。赤十字の輪を広げるために、皆さんフォローをお願いします!

<https://twitter.com/nissekiaomori>  
<https://www.facebook.com/nissekiaomori>  
[https://www.instagram.com/nisseki\\_aomori/](https://www.instagram.com/nisseki_aomori/)



Twitter



Facebook



Instagram



### 北東北初の高精度のがん放射線治療装置を導入

～治療時間の短縮と副作用の低減～

八戸赤十字病院は、5月から北東北の病院では、初めてとなる高精度のがん放射線治療装置を導入し、治療を受ける患者の負担軽減を図っています。



新たに導入した放射線装置「Versa(ヴァーサ)HD」

同装置は、スウェーデン・エレクタ社の最上位機種「Versa(ヴァーサ)HD」で、コンピュータ断層撮影(CT)機能や患者の姿勢を細かく補正できる寝台を搭載し、腫瘍の位置を正確に把握しながら、ピンポイントで放射線を照射することが可能です。従来同院で使用されていた装置に比べ、治療時間が8分の1に短縮したほか、副作用の低減もみられ、治療を受けられる患者からも好評です。同装置や治療に関するお問い合わせは、八戸赤十字病院まで。

### コロナ禍における青少年赤十字活動を考える

～リーダーシップ・トレーニングプログラムを開催～

青森県支部では、例年夏休み期間中、県内の青少年赤十字高校生メンバーを対象に、青少年赤十字の目的である人道的な価値観を自ら見つけ、行動することができる青少年の育成を目指すプログラムとして、「リーダーシップ・トレーニング・センター」を2泊3日の日程で開催しています。



ワークショップに取り組むメンバー(八戸会場)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、中止した本事業の代替として、7月、8月の3日間、「リーダーシップ・トレーニングプログラム」を開催しました。

7月28日、29日はオンラインで開催。青少年赤十字指導講師 瀧本ひろみ先生から青少年赤十字への理解を深めるための講話が行われたほか、今後の活動について考えるプログラムが行われました。

プログラム最終日の8月3日(八戸会場：八戸市福祉公民館)、5日(青森会場：青森市男女共同参画プラザカダール)は、地区ごとにメンバーが各会場に参集し、「コロナ禍における青少年赤十字活動」をテーマに、企画・立案するワークショップの作成、発表を行いました。

参加したメンバーからは、「他校の生徒と話し合い、発表することができて楽しかった」「ワークショップで、他のメンバーのユニークな考えを知ることができ、興味を持つことができた」などの感想が寄せられました。

### コロナ禍のニーズに応じた赤十字奉仕団活動

～平内町赤十字奉仕団が高齢者のワクチン接種をサポート～

平内町赤十字奉仕団(三津谷志津子委員長)は、平内町で実施された高齢者を対象とした新型コロナウイルスの集団ワクチン接種の期間中(5月16日～7月18日まで)、接種会場で事前受付補助や会場内の誘導、車いすの消毒などのボランティア活動を行いました。活動中はフェイスシールドとマスクを着用し、団員の感染防止にも十分努めながら活動しました。



入場の介助をする奉仕団員と町役場職員

会場で共に活動した役場職員からは「介助を必要とする方も多かったので、奉仕団員がいてくれて大変助かった」、「高齢者目線で導線の改善点等を挙げてくれて、より良い準備ができた」などの感謝の声が寄せられました。

## 県内 Topics

### 株式会社ヴァンラーレ八戸が義援金を寄託

～クラブ選手がSNSで募金を呼びかけ～

株式会社ヴァンラーレ八戸より、「令和3年台風第9号等大雨災害義援金」が寄託されました。

同クラブは、災害で被災された方々を支援するため、9月4日、プライフーズスタジアム(八戸市)で開催された2021明治安田生命J3リーグ第17節ヴァンラーレ八戸対テゲバジャーロ宮崎の試合で募金活動を実施。コロナ禍での募金活動ということもあり、選手がSNSで呼びかけを行うなどクラブ全体で取り組みました。



目録を手渡す下平 代表取締役社長(左)

9月8日、株式会社ヴァンラーレ八戸の下平賢吾 代表取締役社長と菅原康平 取締役事務総括本部長が青森県支部を訪れ、同クラブとそのファンやサポーターから寄せられた義援金5万円の目録を、神事務局長へ贈呈しました。

寄託いただきました義援金は、青森県に設置された義援金配分委員会を通じて、全額が被災された方々へ届けられます。

### “知る、見る”赤十字

～「赤十字WEBミュージアム」を公開～

赤十字の歴史や日本赤十字社の所蔵史料を紹介する新ウェブサイト「赤十字WEBミュージアム」を10月1日に公開しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、赤十字情報プラザ(東京本社)への来館に代わる情報発信として、「いつでも、だれでも、どこでも」日赤の所蔵史料の一部を見ることが出来ます。



なお、本サイト内にある特別企画コーナーの最初のテーマは「感染症と赤十字」です。  
赤十字WEBミュージアム  
<https://www.jrc.or.jp/webmuseum/>

### 赤十字ネットワークニュース

義援金は、災害により生命・財産に大きな被害を受けた方々に対し、被災者の当面の生活を支えることを目的としています。受け付けた義援金は被災された方々に迅速かつ公平に配分されます。現在受付中の国内災害義援金と受付期間は以下のとおりです。

- 令和3年長野県茅野市土石流災害義援金 2022年3月31日(木)まで
  - 令和3年8月大雨災害義援金 2022年3月31日(木)まで
  - 令和3年台風第9号等大雨災害義援金 2021年12月28日(火)まで
  - 令和3年7月大雨災害義援金 2021年12月28日(火)まで
  - 令和2年7月豪雨災害義援金 2022年3月31日(木)まで
  - 平成30年7月豪雨災害義援金 2022年6月30日(木)まで
- ※受付期間までにご入金いただけますようお願い致します。

### 献血にご協力くださる皆さまへ

献血のご協力にあたり以下の事項についてご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。

#### 1 献血の条件について

採血の種類	全血採血		成分採血	
	200mL	400mL	血漿	血小板
1回採血量	200mL	400mL	600mL以下(循環血液量の12%以内)	
年齢	16～69歳		18～69歳	18～69歳
	男性:17～69歳 女性:18～69歳		男性:18～69歳 女性:18～54歳	女性:18～54歳
ただし、65～69歳の者については、60歳に達した日から65歳に達した日の前日までの間に採血が行われた者に限る。				
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女50kg以上	男性45kg以上 女性40kg以上	
	最高血圧	90mmHg 以上 180mmHg 未満	50mmHg 以上 110mmHg 未満	
最低血圧	40回/分以上 100回/分以下			
脈拍	37.5℃未満			
体温				

#### 2 献血をお受けできない基準について(一例)

- ①輸血や臓器移植を受けたことがある。
- ②3日以内の出血を伴う歯科治療や服薬(献血可能なお薬もございますので、お薬名をお知らせください。その場でお調べいたします)。※血圧、高脂血症、高尿酸値等の生活習慣病の薬は問題ございませんが、体調等を含め、当日の検診医が判断させていただきます。
- ③24時間以内のインフルエンザ予防接種や海外から4週間以内の帰国。

#### 3 献血のお願い

- ①空腹時の献血は体調不良を起こしやすいため、できましたら食事の摂取をお願いします。
- ②献血後の激しい運動やサウナは、危険ですのでお控えください。
- ③献血カードを持参していない方は、運転免許証等の本人確認できる証明書をご用意ください。

**献血ヒーロー募集中!**

患者さんのいのちを助けるためにあなたの血液を分けてあげてください。

献血ってな～？

日本では病気の治療や手術などで1日に約3,000人が輸血を必要としています!

手術

病気の治療

事故

出産

すべての方に血液をお届けするためには毎日約14,000人の献血が必要!

献血へのご協力をお願いします!

あなたの力を待っている方がいます

献血しなさい! みんなのヒーロー!

**新型コロナウイルス感染症対策 実施中**

献血に関するお問い合わせは、青森県赤十字血液センター 献血推進課まで ☎017-741-1512

### 献血は“16～69歳まで可能です!”

※65～69歳までの方は、60～64歳の間に献血経験のある方に限ります

献血ルーム ■全血献血/9:30～12:30、13:45～17:00  
 受付時間 ■成分献血/9:30～11:50、13:45～16:20  
 ※青森県献血ルームの受付時間は、全血・成分献血とも9:15～(10月1日から変更)

- 青森献血ルーム ☎ダイヤル0120-649-489 青森市長島1丁目3番1号 日赤ビル4階
- 弘前献血ルーム「CoCoSA(ココサ)」 ☎ダイヤル0120-768-489 弘前市駅前町8-1 大町タウンビル2階
- 青森県赤十字血液センターホームページ <https://www.bs.jrc.or.jp/th/aomori/index.html>

